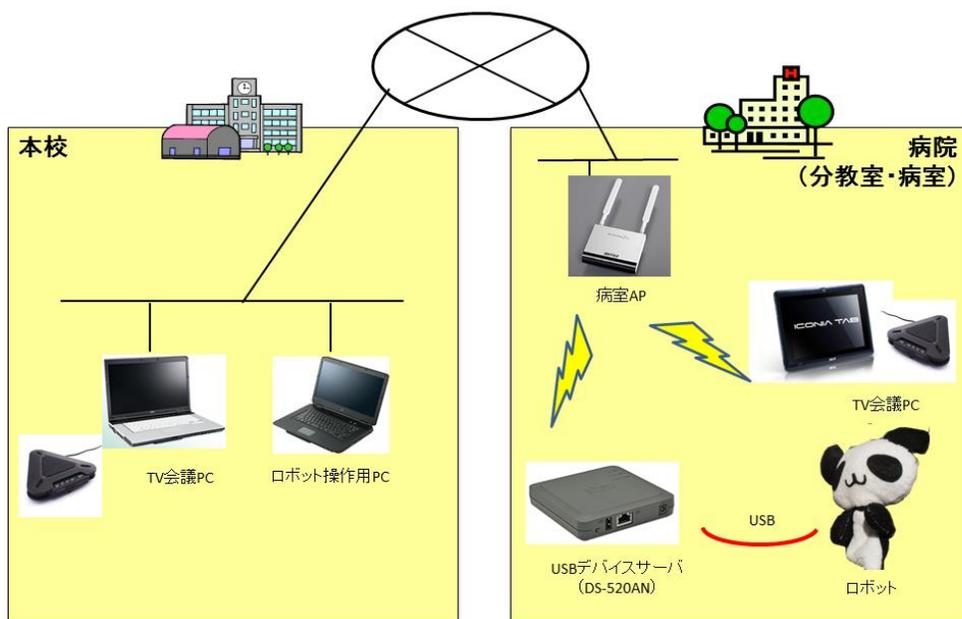


桃陽総合支援学校 リモート・パペット「こくぼくん」



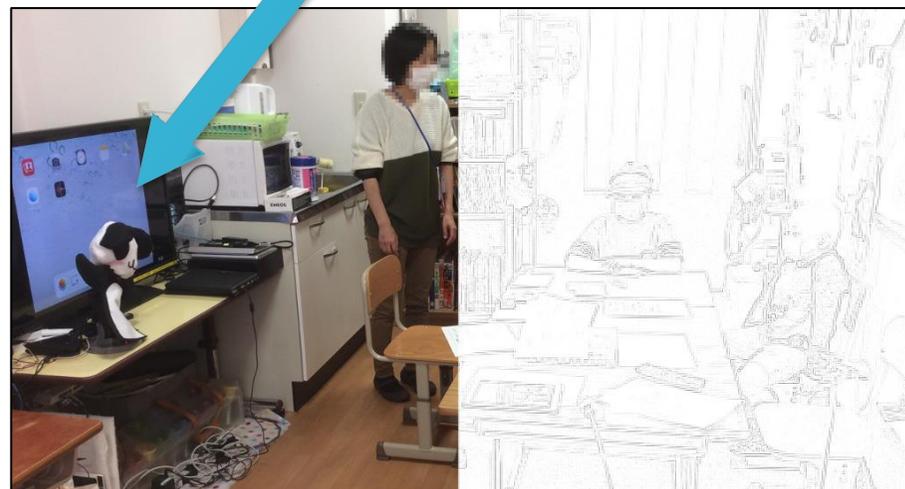
リモート・パペットは、ネットワーク接続された場所において、操作側と児童生徒側とを結び、操作側のロボット操作と話しかけに対して、児童生徒が応えるコミュニケーションを促進するためのツールである。分教室や病室において、人と話しにくい児童生徒でも、人形が相手ならある程度心を開いて話してくれるのではないだろうか。という仮定のもとで、人に代わって話をする遠隔操作ロボットの製作を行った。ロボット本体には、本校のマスコット・キャラクターである「こくぼくん」のぬいぐるみを被せて、より親しみが持てるように配慮した。また、ボイスチェンジャーを用いて、ロボットの声で発話できるようにしている。

無線ロボット制御



本校からリモート操作中の「こくぼくん」

「こくぼくん」と会話する児童生徒



2019/2/12 市立病院分教室にて